

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.269)

1. 解体撤去工事の進捗状況について

高濃度PCB取扱エリア等解体撤去工事は、令和8年8月現在、裁断破碎エリアの設備の解体撤去を行っており、並行して小型トランス解体エリアの解体撤去を開始しました。

どちらのエリアも高濃度PCBを取り扱っていた場所となるため、防護服等保護具を装着しての作業となります。今年の夏は、記録的な暑さとなり、熱中症対策を十分に行いながら解体作業を行っています。WBGT(暑さ指数)を注視し、作業時間を調整しつつ、作業員の健康状態を確認しながら安全第一で行っています。



裁断破碎エリアの解体撤去の状況



小型トランス解体エリアの解体撤去の状況

本工事は、高濃度にPCBが付着している設備の解体撤去を行いますが、同時に低濃度にPCBが付着している設備の解体撤去も行います。

高濃度PCBが付着している設備は、全て約80cmの長さまで手作業により解体し、当事業所の真空超音波洗浄設備により洗浄し、作業時と同様に基準値以下のPCB濃度(卒業判定に合格)になったことを確認したうえで払出しを行います。

一方、低濃度PCBが付着した設備については、払出し経路のシャッターサイズを考慮して切断及び梱包し、鉄箱等に入れて無害化処理認定業者に払出しを行います。

本工事全体としては、高濃度にPCBが付着している設備331t、低濃度にPCBが付着している設備397tを解体し、適切な状態にして払い出す予定です。

今後も解体作業から払出し作業まで一貫して安全第一で作業を進めてまいります。



真空超音波洗浄設備後の解体撤去物



低濃度PCB廃棄物の払い出し状況

2. 毎月21日は安全の日

毎月21日を「安全の日」と定め、安全最優先の意識をJESCO社員および運転会社社員へ継続的に周知・徹底しています。

7月21日の安全集会では、所長から熱中症予防に関する注意喚起が行われました。全国的に熱中症による救急搬送者が増加しており、愛知県でも高い水準が続いていることから、今年は特に警戒が必要であるとの話がありました。

また、十分な睡眠の確保や作業前の身体
の冷却、こまめな休憩、保冷材の活用、無理
のない作業計画の作成など、熱中症対策の
徹底が呼びかけられました。さらに、一人作
業をできる限り避けることや、少しでも体調に
異変を感じた際は速やかに申し出ることの
重要性が共有されました。今回の安全集会
を通じ、参加者全員で熱中症予防への意識
を高め、安全に夏を乗り切ることが改めて確
認しました。



3. 2026年度第3回安全管理能力向上研修

5月に当事業所で開催された第2回「安全管理能力向上研修」(主催:本社トラブル対策チーム)に続き、7月27日(月)および28日(火)に北九州PCB処理事業所において、第3回「安全管理能力向上研修会」が開催されました。

今回の研修会では、「各事業所で実施している入構教育と安全パトロールの着目点の共有」「熱中症対策に関する知識の深化と有効な対策についての意見交換」「参加事業所間のコミュニケーションの促進」をテーマに研修が行われました。



アイススラリー試食によるクールダウン

特に熱中症対策については、全国的に熱中症警戒アラートが発表される日が増える中、作業前に体内の「深部体温」を下げることで熱中症予防に効果的であるなど、実践的で有益な知識を得ることができました。

また、他事業所の取り組みから新たな視点や改善のヒントも得られことから、これらを積極的に取り入れ、安全な解体撤去工事の推進につなげていきたいと思いをします。



デジ丸

問合せ先

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

アザラシのびーちゃん

